

一般質問

地域計画をつくと・・・

- 農地がずっと守られる
- 日本の農産物がずっと作られる
- 新しい農地が利用できる
- 農地が荒れることがなくなる
- 地域が活気づく

地域計画のメリット(農林水産省HPから抜粋)



免塚・川合診療所



よしかわ やすはる
吉川 康治 議員

- ① 町長の考える持続可能な農業とは。
② 一般法人の農業参入に対する支援は。
③ 町内全域の地域計画

- 策定のスケジュール感は、
町長 ① 農業所得のみで生活していける、もうかる農業です。
② 一般の法人が農業に参入されることはこれは歓迎すべきこと、町が何らかの支援ができるようなことがあればさせていただきます。
③ 進んでいる地区は3月

を用途に、そのほかの地区は今後も役場としては話を続けていきます。
地域計画とは、農業者や非農業者を含めた地域の皆さんの話合いにより、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する設計図です。

持続可能な農業とは 農業所得だけで生活できることです



にしに ひさし
西谷 尚 議員

- 村岡区にある診療所は、医師不足・施設の老朽化・患者数の減少など大変厳しいものがある。以下3点
① 診療所の状況は
② 免塚診療所の状況は
③ 今後の診療所の課題と方向性は

- 町長 ①②について、川合・免塚の状況は、患者数・診療収入も減少しています。免塚診療所については、レントゲンなど高度な医療機器も無く定期的検査・薬の処方・予防接種や健康相談などを行っています。利用者は70歳以上の近所の方が主となっています。
③ 課題は、医師・看護婦、医療事務などの人材確保。施設の老朽化の問題もあります。R7年を目処に意見を聞きながら決めていきたい。
利用者にとって見れば、自分達の健康維持のための身近な施設で、無くてはならないものだ。特に高齢者にとっては命に関わる。切り捨てることはできない。仮に閉鎖となった場合、必ず「足」の確保だけは行政の責任とすべきだ。

町長 地域の皆さんのご意見を丁寧に向いながら、医療が受けられる医療全体の構築に向けて取り組みます。

免塚・川合診療所は持続可能なのか 診療所はR7年を目処に決めていきたい

